



3/26

笑いの力で地域を活性化 城里de落語会を開催

町の地域活性化イベント支援事業を活用し、町内在住者が主体となって構成された城里de落語会による「第6回城里de落語会」が、コミュニティセンター城里において開催されました。

会場には町内外から約120名が来場し、真打として活躍する三代目三遊亭とん馬師匠の口演など、本格的な江戸落語が披露されました。観客からは「城里町でプロの落語を聴くことができるのは素晴らしい」などの感想が寄せられ、同落語会会長は「今後も城里町のために活動を続けていきたい」と話してくれました。



3/11

城里町新町区自主防災会 セブン-イレブン城里石塚店にAED設置

城里町新町区自主防災会(会長 石川一男さん)は、24時間対応可能なAEDが町内に1台も無かったことから、株式会社セブン-イレブン・ジャパンおよびセブン-イレブン城里石塚店、社会福祉法人 聖明福祉会 桂聖明園(理事長 本間郷子さん)の協力のもと、休日・夜間問わず24時間使用できるAEDを設置しました。この設置は、城里町新町区自主防災会による、安心・安全で住みよい地域づくりのための取り組みのひとつで、AEDのリース契約や維持管理などの資金面は、桂聖明園の全面的な協力により実現しました。

3/30

町村の発展に貢献された2名が受賞 茨城県町村会 民間自治功労者表彰

水戸プラザホテルにおいて、茨城県町村会が主催する「令和3年度 町村自治功労者表彰式」が開催されました。本町では、松崎忍さん(増井)と小山卓臣さん(北方)が民間自治功労者として表彰されました。

松崎さんは、公立小学校を校長として退職後、平成22年4月から銚田市にある栃木県立とちぎ海浜自然の家において指導員を務め、海浜にまつわる活動を軸とした子どもたちの生涯学習活動を支え、豊かな人間性や社会性とあわせ「生きる力」の育成に尽力されました。平成27年4月からの2年間は、地元から推され増井一区長に就任し、地域の自治活動、地域コミュニティ活動に積極的に取り組まれました。平成29年4月からは、学校教育・生涯学習における両経験値の大きさと、町民からの厚い信頼から町教育委員に就任し、平成31年4月からの2年間は教育長職務代理者として豊かな教育的識見と指導力をいかし、積極的に教育環境の整備に取り組むなど、本町教育行政の充実・発展および地域福祉の向上に多大な貢献をされました。



▲写真左：松崎 忍さん



▲写真左：小山 卓臣さん

小山さんは、平成7年から桂村農業委員会委員として、優良農地の確保や耕作放棄地の調査・解消など、数々の問題解決に向けて意欲的に取り組まれました。会長を務めていた4期目の平成17年2月には、町村合併にともない城里町農業委員会を発足させ、通算6期目となる平成21年1月まで、初代農業委員会会長として、新町における農業委員会組織を支えるとともに後進の育成に努められました。退任後は、地元からの厚い支持を受け平成21年4月に北方区長に就任し、6期12年もの間、地域コミュニティ活動に取り組み、健やかに暮らせるまちの実現を牽引しました。令和2年までの2年間は町の区長会長も務められ、長年の経験からなる豊かな知識と卓越した指導力をもって、町全体の住みよい地域社会づくりに大きく貢献されました。



4/7

新入生の安心・安全を願って 防犯ブザー等が寄贈されました

株式会社 常陽銀行から、防犯ブザー105個が寄贈されました。同行では、地域貢献活動の一環として、県内の新入学児童全員に防犯ブザーを寄贈する取り組みを、平成17年より行っています。寄贈された防犯ブザーは、入学式の日に入生に配付し、児童の防犯対策に活用されます。

その他、多くの企業から安全帽等を寄贈いただきました。寄贈品は、新入生の学校生活の充実のため有効に活用させていただきます。



寄贈品	寄贈元	寄贈品	寄贈元
安全帽	水戸農業協同組合 常陸農業協同組合	集金袋	株式会社 学協社 茨城県トヨタ販売店グループ
安全笛	日本マクドナルド株式会社	黄色いワッペン	みずほフィナンシャルグループ 損保ジャパン株式会社 明治安田生命保険相互会社 第一生命保険株式会社
ランドセルカバー・ 交通安全たすき	笠間地区交通安全協会		

ご入学おめでとうございます

4月7日(木)に町内小学校で、4月8日(金)に町内中学校で入学式が行われました。

七会小学校



常北中学校

